

東京2020オリン それぞれの思い 希望の

ピック聖火リレー が引き継がれた聖火 灯火が村 upper を駆け抜ける



最終ランナーの山田詩織さん（坂町）
やまだ しおり

天候に恵まれ、波おだやかな日となった6月5日、市内で東京2020オリンピック聖火リレーが開催されました。陽が沈みかけた午後6時51分、美しい夕日の中で最初のランナーが村上市スケートパークを出発。岩船港港湾緑地までの2.8kmを14人のランナーが希望の灯火「聖火」をリレーしました。

沿道では、市民やまちづくり協議会の「沿道盛り上げ隊」が見守り、手を振ったり拍手をしたり、声に出さない声援を送りました。

組み写真：リレーポイントでは聖火を引き継ぐ「トーチキス」が行われました。沿道では、応援をする人も。密にならないように人と人との距離に気を配りながら見届けました。





東京2020 オリンピック聖火リレー セレブレーション フォトライブラリー

令和3年6月5日(土) 岩船港港湾緑地

聖火リレーの到着地になる岩船港港湾緑地では「セレブレーション」が行われ、事前に応募した来場者が待ち構える中、オープニングセレモニーの「瀬波温泉潮太鼓」やスポンサープログラムが披露されました。また、実行委員会やパートナー各社のPRブースも設けられ、会場は賑わいを見せました。

夕日に染まる空の下、午後7時25分、最終ランナーの山田詩織さん(坂町)が会場に到着。最後は、次代を担う子どもたちのサポートランナーの伴走を背にステージに登壇し、来場者や報道陣、関係者が見守る中、聖火が無事、聖火皿に点火されました。

